

特集:第24回東京モーターショー

## BIG SENSATION YAMAHA

ヤマハは、夢をかたちにする



特集：第24回東京モーターショー  
 “ビッグ センセーション ヤマハ”  
 ヤマハは、夢をかたちにする。

- 時代を超えた、革新のヤマハスポーツ…………… 3
- チャレンジは限りなく。  
 ヤマハスポーツ・スピリッツ…………… 12
- スクーター時代をリードするヤマハ…………… 13
- モーターショー★トピックス…………… 14

●カラー

- 東京モーターショーハイライト…………… 15
- 鮮烈。2つのターボ…………… 16
- XZ550 & XT550…………… 18
- レースコーナー & スクーターコーナー…………… 19
- ……………
- ヤマハショールーム……………小型除雪機…………… 22

- 話のパドック…………… 23
- フレンド店登場⑫…………… 24
- 連載⑫セールス最前線…………… 26
- パワーアップ★ヤマハ奥さま…………… 28
- ヤマハ★トピックス…………… 30
- セフティコーナー…………… 33
- SUGOインフォメーション…………… 34
- ヤマハ用品★部品コーナー…………… 35



982,271通

このぼう大な数字が、“ヤマハ・オールスクーター・クイズ”に寄せられた応募ハガキの総数。応募資格を問わないクイズ形式のオープン懸賞としては、記録的な数字だと、関係者の驚異の声を集めていますが、これはそのままヤマハスクーターシリーズへの関心の高さといえるでしょう。30ページに抽選結果を発表しましたが、その中にお店のお客さまはいらっしゃいましたか？ どうぞこの大きな成果を年末年始のスクーター商戦にお役立てください。

カジュアルシューズとベルーガ……これもヤマハスクーターの浸透ぶりを物語るようなワンシーン。これは、東京・銀座で75年のノレンを誇る『ヨシノヤ靴店』さんのディスプレイです。「スポーツカジュアル」というテーマなのでスポーティでハイセンスなベルーガと組合わせてみました。スクーターをショーウィンドに置いたのは初めてです



が、お客さまの反響も予想以上。30代、40代の男性など靴よりもスクーターに興味があった方も多かったほどです」とは『ヨシノヤ靴店』さんの話です。

〔表紙〕東京モーターショーでヴェールを脱いだVツイン第2弾・衝撃のスーパースポーツ『XZ550』

# 特集：第24回東京モーターショー

## BIG SENSATION YAMAHA

ヤマハは、夢をかたちにする。

第24回の東京モーターショーが、10月30日から11月10日まで、東京・晴海の国際見本市会場で開かれました。

「よりよい暮らし、確かなるま、をテーマにしたこの24回ショーは、文字通り暮らしに不可欠の存在となったモータリゼーションの姿を象徴するように12日間で111万4200人もの入場者を数えるほどの盛況ぶりです。

とくに2輪車館は、昨今のバイクブームを反映して男

性、女性、ヤング、アダルトとひととき幅広い人びとの人気を集めていました。

中でもヤマハは、「ビッグ センセーションヤマハ」をメインテーマに、先進のヤマハ技術のかずかず、モータースポーツ活動そしてスクーターシリーズをご紹介。群を抜く技術力と時代をリードする商品開発力が、つめかけたお客さまの話題をさらったものです。



# 時代を超えた革新のヤマハ・スポーツ

今回のショーで文字通りのビッグ・センセーションをまきおこしたのが、ヤマハの先進技術をもり込んだ4台の参考出品車です。モーターサイクルの新次元を切り拓く、これら革新モデルと先

進の技術は、つめかけた人びとに、どんな「夢」を描かせていたのでしょうか？ 会場を訪れた4店の販売店さまと同行のお客さま、従業員さんに、その強烈な印象を語っていただきました。

## XJ1100 TURBO

### 「おおっ、ドドライブコンピューターにビッグターボだ！」

モーターサイクルの電化をリードするヤマハに話題集中！

「メカトロニクス時代」つまりメカニズムをエレクトロニクスがコントロールする時代といわれる中で、エレクトロニクス技術の導入が特に注目された今回のモーターショー。

モーターサイクルの「メカトロニクス化」をリードするヤマハは、ここでもさらに進んだ新技術を紹介して、ユーザーはもとより各方面の大きな反響を集めました。ヤマハの最大排気量モデル「XJ1100ターボ」に

搭載された世界初のモーターサイクル用ドライブ・コンピュータを含む「ヤマハ・サイコム」と「ターボチャージヤーン」がこれ。「サイコム」は、サイクル・コミュニケーションの名のとおりに、人間とマシンの調和をはかり、一体感をさらに高める革新技術。またターボチャージヤーンは、エレクトロニクス・フェル・インジェクションにY.I.C.S.とリッドバルブを組み合わせたヤマハ複合技術の結晶として注目されたものです。

#### マシンをさらに高める

#### ヤマハ・サイコム・システム

モーターサイクルをより機能的に活用し、エンジョイするために、乗り手とマシンとのコミュニケーションを促進させる——というヤマハのマシンづくりの姿勢から生まれたのが、「ヤマハ・サイコム・システム」マシンの状況を克明に把握してトラブルの発生を未然に防ぎ、マシンの行動能力を予測するこのシステムが、ビッグバイクの安全性向上に直結したものであることはいままでもありません。

ター、④8つの警告機能を持つコンピュータ・モニター（XJ750Aと同機構）、⑤ターボ効果を視覚でつかむターボブーストメーターの5つのシステムを一体化したもので、これらすべてを液晶で表示します。

（ヤマハ・サイコム・システム）は、①世界で初のモーターサイクル用ドライブ・コンピュータ、②世界初のデジタル表示式スピードメーター、③扇形ゾーン表示式タコメーター、④8つの警告機能を持つコンピュータ・モニター（XJ750Aと同機構）、⑤ターボ効果を視覚でつかむターボブーストメーターの5つのシステムを一体化したもので、これらすべてを液晶で表示します。

このうち、世界初のモーターサイクル用ドライブコンピュータは①時計、②加算トリップ、③減算トリップ、④燃料残量、⑤瞬間燃費、⑥走行可能距離、⑦走行時間、⑧平均車速、⑨燃料消費量、⑩平均燃費の10項目を、右ハンドル・スイッチ部のファンクション・スイッチの操作ひとつでチェックできるのです。また、大型液晶を使ったデジタルスピードメーターと扇形ゾーン表示





ヤマハのスーパー・テクノロジーを前に話す加藤社長(右)と椎橋さん(そのお隣りは加藤社長の奥さま・裕子さま)

# 信頼のマシンに信頼のメカで、楽しさも倍増!

●加藤重樹さま / オートバイの店NSTC(神奈川県相模原市)社長  
●椎橋保子さま / 主婦。5台のバイクを所有するマニア。



ターボチャージャーを装備したパワーユニットの圧倒的な迫力とスーパーカーのインパネを想わせるヤマハ・サイコムに熱い視線が集中したヤマハのビッグストマシン「XJ1100ターボ」

加藤 モーターサイクルもここまで来たかっていう感じだね。ドライブ・コンピューターなど世界で初めての機構でしょう。XJ750Aの実績をもとに開発されただけあって、乗り手に対する配慮がすみずみから感じられるね。

椎橋 とにかくサイコムのデジタル表示がとてもいいかんじ。メカに弱い女性でも、手もとのスイッチひとつで必要なデータがすぐにそろっちゃうなんて、夢のような話よネ。

加藤 僕はタコメーターなんてよく工夫されていると思うよ。ライダーの心を知っているというか、実際に見やすいし、見ているだけだつて楽しいじゃないか。バイク

って、どちらかというとクルマほど安定していないというが、不安定なところにまた面白さもあつたわけだけど、ここまで完成されちゃうと、これはこれで信頼できていいって感じ。確かな情報のもとに、安全走行が保障されるってことは、それだけライディングへの楽しみに集中できるってことなのだから。

椎橋 ロングツーリングなんかに行ったらとくにこのサイコムの力は大きいんじゃないかしら。安心感ももちろんだけど、燃費性の面なんかでもかなり効率が高くなるでしょう。

加藤 もちろんサイコムもそうだけど、ターボのパワーも見逃せないよね。僕は以前イレブンに乗っていたじゃない。あの時だつてスゴイ!と思っていたのに、それにターボがついたとなつたらもう想像できない。

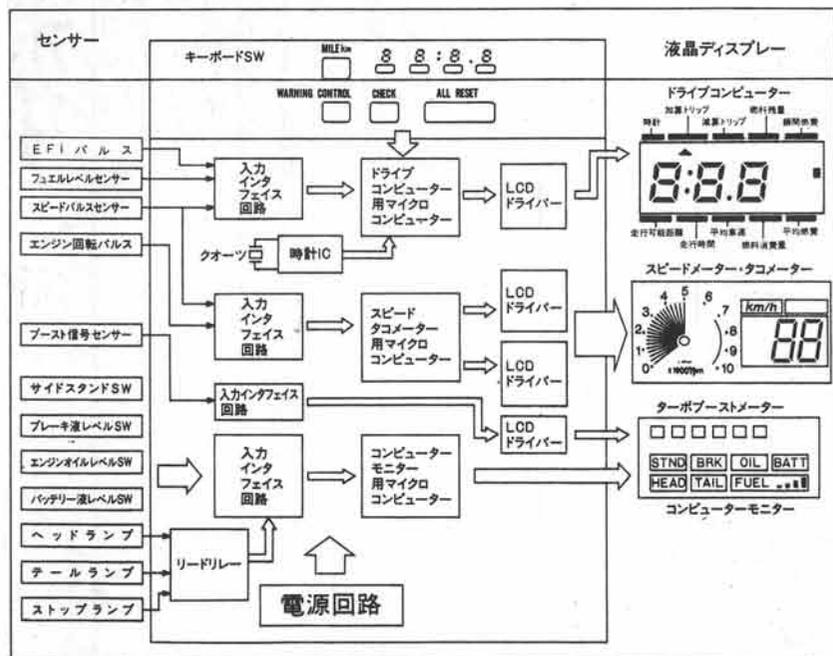
椎橋 2種類のターボを同時に発表したつていうのも、2輪、4輪を問わずヤマハだけでしょ。ちょっと、私なんかじゃ負けそうなくらいの迫力ね。

加藤 このハードさは椎橋さんには悪いけど、男の夢、つてとこだね。これにまたがつて高速道路を走つた時の感覚たるや、ウーン、たまらない。ビッグ・ターボなんて、いまだ4輪だけの技術のように思っていた人も、今回のモーターショーで認識改まったんじゃないかな。

椎橋 YICSを組み込んだということは同時に省燃費も実現しているつてことで、高出力と省エネを両立させたところなんてサスガね。

加藤 このモデルも大迫力だけど、僕としてはこのほかにヨーロッパ・タイプも期待したい。それにしても、わが日本でも早くスーパーバイクが心おきなく乗れる時代がやつてこないかな。

## 《ヤマハ・サイコム・システム ダイアグラム》



のタコメーターも世界で初のシステム。どちらも動的視認性を追求し人間工学上の実験テストを重ねて、理想的な表示デザインと大きさを決定したものです。スピードメーターは



### ニュー・ターボシステム

「XJ1100ターボ」に搭載されたターボチャージャーは、本誌の'81年1月号でご紹介した「ヤマハ・ニューターボ・システム」。

エレクトロニクス・フェル・インジェクションにクイック・レスポンスをもたらすリッドバルブ、さらに低燃費と高出力を両立させたY・I・C・Sを組みあわせたものです。

キロメートル表示とマイル表示がワンタッチで切替えられるほか、タコメーターもノーマルモードとアイドモードの切替えがワンタッチで行なえ、50rpm単位のシビアなアイドリング調整を可能にしています。

# XJ650 TURBO

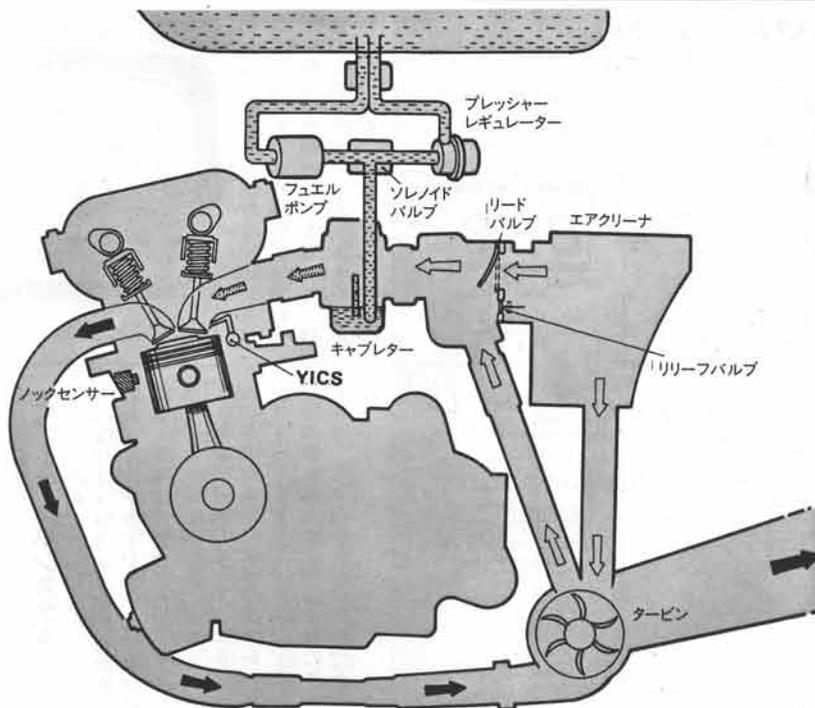
「これが、世界初のキャブターボが！」  
革新のターボ技術と未来感覚のスタイリングに熱い視線！



「こんなフェアリングでターボクルージングが楽しめたら！」の声がいきりに聞かれた「XJ650ターボ」

## キャブターボシステム

モーターサイクルターボへの応用範囲を広げる



「XJ650」のコンパクトでナ  
ロウなDOHC、4気筒に搭載した  
ターボシステムが何よりも画期的  
なことは、通常のキャブレターをベ  
ースとした燃料供給系を採用してい

ることです。このためコスト面でも、  
整備性の面でも多くのメリットを生  
み出し、モーターサイクル・エンジ  
ンへの幅広い応用が見込まれてい  
るのです。



微に入り細にわたってチェックする鈴木社長(右)と木島さん

## 未来のバイクがいま目の前に!

●鈴木 昇さま／鈴木輪業(東京都小平市)社長  
●木島 悟さま／鈴木輪業勤務。24歳

「メカトロニクス」とならんて、もうひとつ第24回シヨのハイライトとなったのが、ターボエンジン技術です。省エネという時代の要請を満たし、高性能化という人間本来の夢をあわせて実現するものとして脚光を集めているエンジン技術であることは、いうまでもありません。

しかもヤマハでは、この注目の技術に唯一社、2つのターボ”を出品して話題をさらったのです。ひとつは、前ページにご紹介したエトロクニク・フェル・インジ

鈴木 写真ではもう見てたけど、実際「XJ650ターボ」を目の前に見ると、すごい迫力だね。さすがに来春にはヨーロッパで発売されるとあって完成度も高いし、よく考えつくされた感じがする。

木島 うん、すごいですね。こういうバイクは僕らとしても想像はしていたわけだけど、実際に形になって現われちゃうともうカンゲキですよ。

鈴木 4年前のモーターショーでヤマハはカプエレーサーって盛んに言っていたけど、いまようやくそれを具

エクシオン・ターボ、そしてもうひとつは、キャブ・ターボです。特に、この「XJ650ターボ」のキャブレター・ターボシステムは、世界で初めてヤマハが開発したもので、通常のキャブレターをベースとした燃料供給系を採用しているところに画期的な意味ももっています。さらに、この衝撃的なメカニズムを搭載したモデルが、未来感覚いっぱい流麗なフェアリングをまとった「XJ650ターボ」とあって、お客さまの話題もまた一段と大きな盛りあがりを見せていました。

現したバイクが出たってかんじ。未来的なイメージのフェアリングは、さすがにヤマハならではのハイセンスといえる。これが出たら逆輸入してでも店頭に飾っておきたいくらいだね。

木島 飾っておくだけじゃもったいないから、みんなでぜひとも乗り回しましょうよ。こんなにキレイなバイクに乗れるなら、身につけるものだって考えなくちゃならないだろうし、乗り方だって考え直さなくちゃならないけれど、それはそれで新しい楽しさが生まれてきそう!

鈴木 スタイリングもさることながら、キャブ・ターボの技術もすごいよ。外からみてもターボがついているなんて見えないし。ターボに不可欠なフェル・インダクションがないためコンパクトになり軽量化されているわけだけど、われわれ販売店にとっても有利なことは低コスト化され、整備性が向上されていることだよ。

木島 ターボといえばパワーアップに目を奪われがちだけど、このキャブ・ターボはYICSのほかにノックセンサーやリードバルブが採用されているので低速時でもターボ効果が発揮される。省エネ効果も充分に期待できる点が嬉しいですよ。とくに国内販売が実現できれば、市場性にも見合うし。

鈴木 ここまでターボ技術が進んでいるのだから、これからは400や250のバイクに搭載されてもおかしくないだろうね。また、これらの排気量だったら国内販売だって認められていのように思うんだけど……。

木島 そうですよ。これだけコンパクトにまとめられれば僕らとしてもそれを期待したいところですね。

しかも、このキャブ・ターボは、ターボチャージャーによってすぐれた出力特性を高効率に引き出すばかりでなく、ヤマハ独自のリードバルブでターボラグを防ぎ、クイックレスポンスを生み出しながら、さらにノックセンサー付きブリストコントロールやYICSの採用で高性能と低燃費を両立させたもの。

### 理想のターボクルージングを実現する

## エアロダイナミクス・フェアリング

「XJ650ターボ」のハイスピード・クルージングをより快適なものとするために、同時に開発されたのがエアロダイナミクスを極めた未来感覚のフェアリングです。その機能的な美しさで、つめかけ

このように、それぞれの機能をシステマチックにとらえ複合化しているヤマハの先進技術に、世界の目が注がれているのです。ちなみに「XJ650ターボ」では、世界最小といわれる三菱重工製ターボチャージャーを採用。4千毎分回転あたりから発揮されるターボ効果は18マシンの迫力です。

たお客さまの歓声を誘ったこのフェアリングは、ヤマハのポート部門で蓄積した造形技術を駆使し、風洞実験をつみ重ねてエアロダイナミクス(空気力学)を徹底的に追求したものです。



# XZ550

## 「走りに徹したVスポーツだ！」

### スーパーテクノロジーの結晶に集中した熱い期待

マニアックなスポーツユーザーにとって、今回のショーで最も衝撃的だったのは「XZ550」のデビューでしょう。

「XJ1100ターボ」のターボ・チャージャーやドラッグ・コンピューターまた「XJ650ターボ」のキャブ・ターボや前衛的なフェアリングが、まさに「夢をかたちにした」ものであるのに対し、この「XZ550」は、きわめて現実性の高いモデルとしてお客さまの眼に映っていたからです。

しかも「XV750スペシャル」でビッグバイクの世界に新次元を開いたヤマハが、一年を経ずして発表したVシリーズの第2弾が、「XV750スペシャル」とは

まったく趣きを異にしたスポーツバイクだけに、お客さまの驚きもひとしおです。

水冷・Vツイン、DOHC、8バルブ、YICSというハイメカニズムを結集したパワーユニットが生み出す64・4PSのハイパワー、コンパクトなシャフトドライブ、エンジンを懸垂支持するダブルクレードルフレーム、そしてモノクロス・サスペンションとトレーリングアックスル型のフロントフォークからニューデザインのカヤストホイールまで……その精悍なスタイリングにもり込まれたスーパーテクノロジーのかずかずが生み出す、鮮烈な走りの世界に熱い期待が集中していたのです。

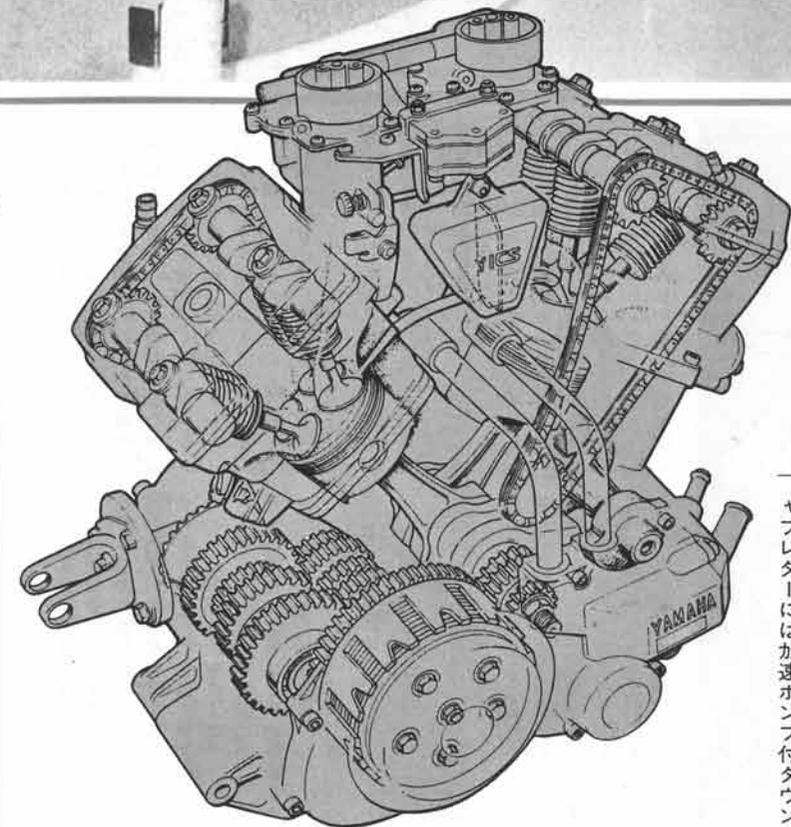
スポーツバイクの概念を変える

## ハイメカニズム・Vツイン

ヤマハのVツイン・テクノロジーの第2弾「XZ550」のパワーユニットは、3ウェイト・1軸バランスをクランクケース前方に配したスリムな水冷Vツイン。

「XV750スペシャル」の75度交角に対して新たに70度Vを採用、

新しいVファイリングを実現しました。そして、この水冷Vツインに強烈なパワーと俊敏な吹き上がりをもたらしているのがDOHC・8バルブ。このハイメカニズムの採用によってピーク回転は9500rpmにも達し、64・4PSというハイパワーを実現させているのです。また、キャブレターには加速ポンプ付ダウン





「これが新しいVツインか?」とホットな話題を一身に集めた「XZ550」

## どんな操縦感覚が、今から胸踊る!

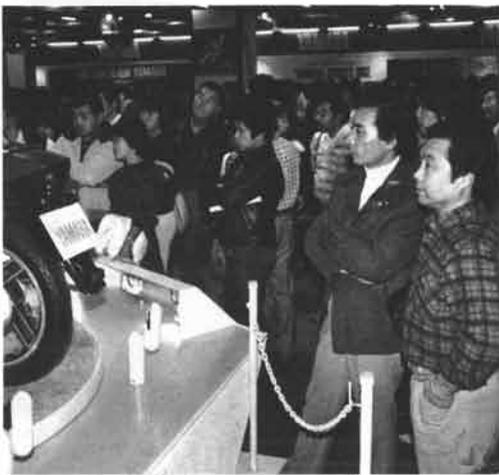
●大谷吉一さま/オオタニモータープロダクト(東京都板橋区)社長  
●能勢一郎さま/能勢動物病院院長。38歳

大谷 最近のヤマハのデザインは、そこに置いてただ眺めているだけでも魅力を感じさせてくれるけど、この「XZ550」も決して例外ではない感じがしますネ。

能勢 デザインの仕上げがきれいですよネ。とくにタンクの下部からエンジンのヘッドあたりの処理がよくまとまっているみたい。

大谷 スッキリしているのかな。タンクの絞り具合にしても、シートにしてもスリムに仕上がっているでしょう。シート形状は足つき性も多分に考慮しているみたいですね。

能勢 メカニズム面でまず気に入ったのは、水冷だっ



「早く乗りたいネ」とタメ息をつく大谷社長(手前)と能勢さん

てこと。あの空冷のXJシリーズさえあれだけ静かなエンジンなのだから、このXZはもっと静かなはず。むしろ排気音にバイクらしい生き生きとした味付けが、どうつけられているかの方に興味がありますネ。

大谷 僕が最も興味をもって見たのはフロントフォークにトレーリングアクスルを採用したこと。これは操縦性を考えてのことでしょうけど、どんなフィーリングだか今から楽しみです。また、アジャスタブルハンドルの採用も、もともと人間工学的にみてハンドル高やステップ位置やシート高は調整可能式にすべきだと思っていたので、その実現への第一歩として大いに期待しています。

能勢 そう、アジャスタブルハンドルだとポジションに変化もつけられるので、ロングツーリングでも疲れが少ないでしょうね。それと、ツーリングでいえば燃費性が問題になりますが、「XZ550」の場合は4バルブで燃焼効率が上げられたうえ、YICSが装着されているので、どの程度の燃費性が実現しているかが楽しみというところですか。

大谷 とにかく、販売店の立場から言わせてもらえば、「XZ550」が出るならついでにXZ400も出してもらいたいということですね。550に関してはこのままで充分アダルトユーザーの敏感な反応が期待できるけど、より多くのスポーツユーザーにこのフィーリングを伝えるためには400も欲しい!というのが実感ですね。

能勢 僕はいまRZ250のほかにモトグッチとトライアンフを持っていますが、この「XZ550」もかれらに劣らず強い個性を秘めている。いまは「XZ550」が早く日本の市場に現われる日を待ちわびているという心境です。

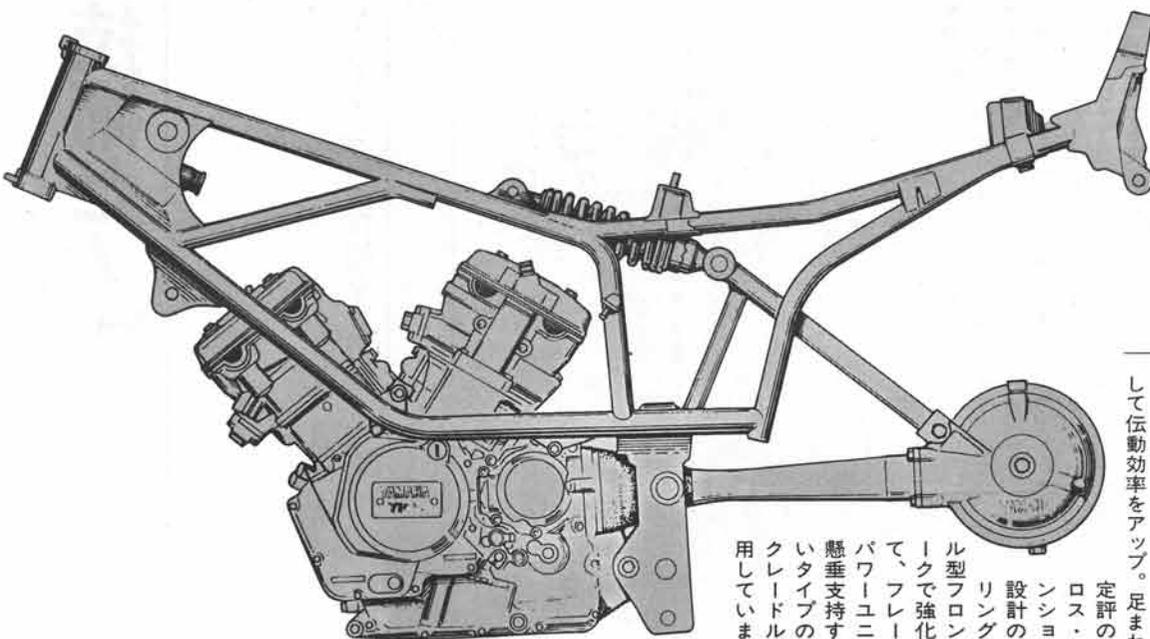
ドラフトタイプを採用してシャイブなレスポンスを生み出し、同時に、YICSを装備してハイパワーと低燃費を両立させています。もちろんVツインへのYICSの採用は、この「XZ550」が初めて。XJのインライン4気筒のYICSとは異なり、Vゾーンに独立したエアチャamberを設け、ここに圧縮行程の混合気の一部を導入、吸入

行程時に吐き出しながらスワールを発生させています。

### 車体関係にも、 かずかずの革新メカ

この革新的なパワユニットにあわせて、車体関係にも先進メカが存分に投入されています。まず駆動方式には軽量・コンパクトなインライン3軸式のシャフトドライブを採用して伝動効率をアップ。足まわりも、

定評のモノクロス・サスペンションと新設計のトレーリングアクスル型フロントフォークで強化。そして、フレームにはパワユニットを懸垂支持する新しいタイプのダブルクレードル型を採用しています。



# XT550

## 「オフロード・マシンにも革新技術だ！」 画期的な吸入システム「YDIS」に驚異の目

ヤマハの先進技術がずらりと並び、構造図や作動図を駆使した技術解説に、喰い入るよう聞き入る熱心なお客さままでにごわうスポーツコーナーの中でも、最近着実に増えつつづけているオフロード派の人気を一身に集めていたのが、ビッグ・エンデューロ「XT550」です。

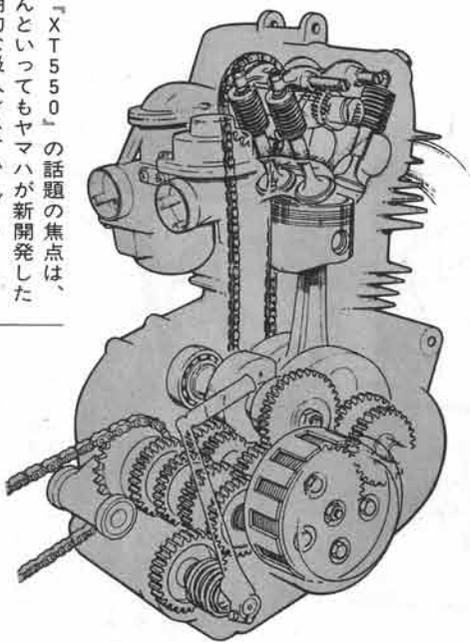
「オフロードのヤマハからビッグ・エンデューロのニューモデルだ！」パリッダカールモデルの流れを汲んだフルチェンジだ！といった声がとびかう中で、この「XT550」は、すぐ隣りのレースコーナーでひととき異彩を放つ

パリッダカール「オアシスラリー」2年連続優勝の「XT500」とともに、その話題を一段と増幅させていました。そして、この話題の焦点となっていたのが「ダブル・インテーク」に、ダブル・エキゾーストだ！と驚異の目を集めたヤマハ新開発の画期的な吸入システム「YDIS」。さらに、新開発のタンクイン・ダイヤモンド型フレーム。ニューデザインの燃料タンクと、シートに象徴されるスリムな車体構成をして133kgという驚くほど軽い車重……などが、「XT550」の総合性能の高さを何よりも有弁に物語っていました。



「スリムなボディにY.D.I.S.エンジンかた」とオフロード派の人気を独占した「XT550」

### ビッグ・シングル性能を一新する 驚異の革新メカ「YDIS」



「XT550」の話題の焦点は、なんとといってもヤマハが新開発した画期的な吸入システム「YDIS」（ヤマハ・デュオ・インテーク・システム）です。

単気筒エンジンでデュアル・エキゾーストという例は珍しくありませんが、インテークもデュアル方式として吸入効率を高め低速から最高速までビッグ・シングルのパワー・フィーリングを一新させているのが、この「YDIS」なのです。

YDISは、2つのインテーク・ポートにプライマリとセカンダリーの2つのベンチュリーとセカンダリーの2つのベンチュリーを装備、開閉方式の異なるこの2つのベンチュリーの「作動差」を利用して回転全域で大幅な性能向上を実現した世界初のシステムです。

つまり、プライマリにはVMタ

イブ、セカンダリーにはBSTタイプのベンチュリーを装着しています。このうち低速域ではプライマリのみが作動して従来の低速性能の低下、低回転でのキャブレレーション不足を解消しています。

一方、高回転域になるとセカンダリーのBSTタイプが作動を始め高速性能を向上させます。さらにフルスロットル時になると2つのベンチュリーが全開となると、これまでに以上のハイパワーを発揮するようになります。事実、2つのベンチュリー面積の合計は、通常のワンキャブよりも20%も大きくとれるところから、高性能の実現とともに、オーバーベ



## これからのオフロードマシンは「林道十ハイウェイ」 楽しいYD1Sの効果

●石井重行さま／(株)スポーツシヨブイシイ(東京都江戸川区)社長  
 ●町田晴男さま／(株)スポーツシヨブイシイ勤務。23歳

石井 正直なところ会場へ来るまでは、YD1Sって同種類のキャブレターを2つ取りつけただけかと思っただけで、この低中速域をカバーするVMタイプと負圧によって開閉するBSタイプの使い分けがなんともいえないネ。

町田 こうして目の前で見てしまうと、なんだこうなっているのか?って思うけど、このアイデアと着眼は大変なことですよネ。

石井 常識を破った考えながら、シンプルにまとまっている。コロンブスの玉子。ってかんにて、驚ろかされちゃったよ、ホント。



身をのり出してホットな技術論をたたかわせる石井社長(左)と町田さん

町田 細かなところだけど、アクセルスロットルガイドが下向きなのは転倒時にも破損が少ないですよ。また、メーター類の小型化によるフロント部の軽量化や、ガソリンタンクの大型化などは大歓迎ですね。

石井 しかもYD1Sが加わったことで、林道だけでなく高速走行もより性能アップされた。より広範囲までオフロード走行が楽しめることになった点が、嬉しいね。

町田 そうですネ。いまや林道ツーリングのブームだけ、身近かな林道を行くつきた後はロングツーリングしかありませんからね。これからは何日もかけてのパイクの旅なんてはやりそう。その点「XT550」なら直流12Vヘッドランプ採用のため、安心したロング・ツーリングが楽しめるのでは。パリ↓タカールで実証された「XT500」のパワーアップ版なのだから信頼性も高いし、道を選ばずって感じのツーリングが楽しめそう。

石井 重量も133kgっていうのは大正解だし、29.6kg/kgのトルクウェイトレシオも驚異。細かなところにもいままでのユーザーの声を充分に反映してくれたことなど、ヤマハのオフロードモデルづくりの姿勢には今後も期待できるといったところかな。

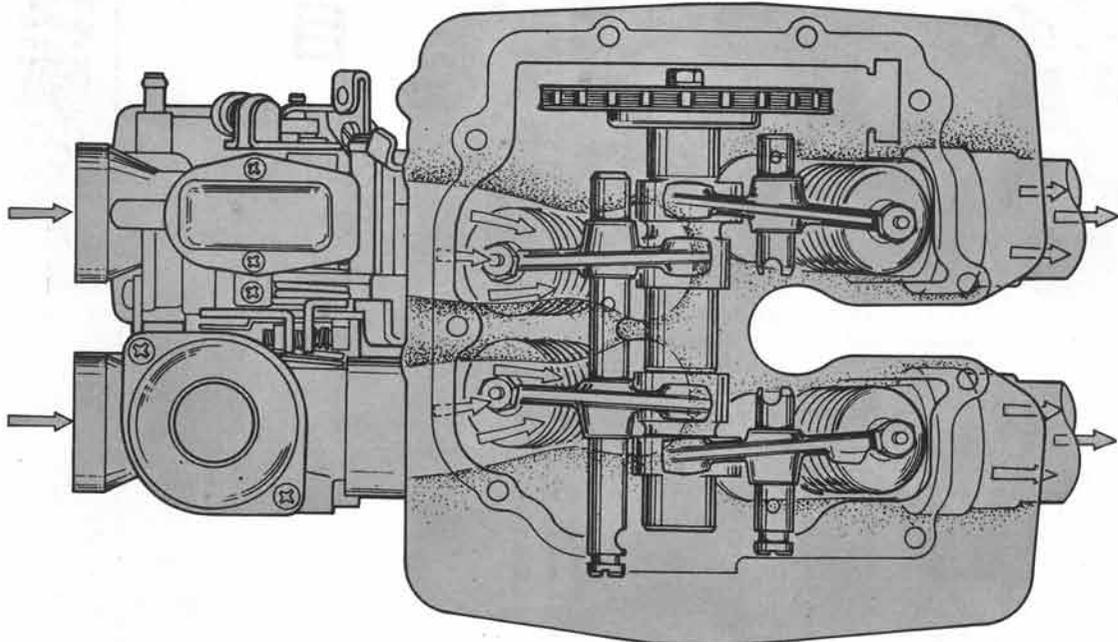
町田 いろんな技術を持っているヤマハのことだから、オイルクーラー付きの「XT550」なんかも考えていたりして。

石井 いや、「XZ550」で4サイクル水冷の軽量化に成功しているんで、水冷「XT550」のオイルクーラー付きぐらいは考えているのではないかな。それにYD1Sの「XT400」なんても期待できるし、250、125も勢ぞろいすると楽しいだろうネ。

## 高出力と低燃費を両立したYD1S

このYD1Sでプライマリー側の守備範囲は90~100km/h域まで。ここまではセカンダリー側は作動しません。しかも、このプライマリー

・ベンチュリーは、デュアル化によってポート口径も小さく、またシリンダーの中心に対してオフセットして配置されているため吸入混合気の流速は速まり、円周に沿ってスワール(渦流)を発生する。つまりYICSとまったく同じ現象が生み出されます。これでYICS同様に、すぐれた出力特性と低燃費があわせ得られるのです。



# チャレンジは限りなく ヤマハスポーツスピリッツ

## 市販車に直結する技術革新への挑戦に注目



最強のファクトリーマシンにヤングの話題が集中するレースコーナー。左手前から「YZM250」「YZM500」③が「XT500」右手前が「YZR500」

ヤマハの先進技術をフル投入した参考出品の4モデルに騒然たる話題が集中したスポーツコーナーの隣は、ファクトリーマシンにヤングの熱い視線が集中するレースコーナー。ここには、ニール・ハドソン選手の手で'81年の250cc級モトクロスの世界選手権を獲得した「YZM250」とブロック・グラバール選手がAMAナショナル選手権500cc級



「こうしたレース活動の成果が市販モデルに受け継がれて来るのか」とファクトリーマシンへの関心は高い

こちらは何よりも肌で感じとられているだけに、こうしたワークスマシンに注がれる視線にも一段と親近感がこめられているのです。一方、マシン後方に設けられたテレビからは、さまざまなレース活動のVTRが放映され、ダイナミックなモータースポーツの世界へと、つめかけたお客さまの心をかりたてていました。

を制した「YZM500」の2台のワークスマシントロッサー。'79年から3年連続してケニー・ロバーツ選手を世界選手権ロードレースシリーズ500cc級のチャンピオンに導いた「YZR500」さらに'79年、'80年と2年連続して世界一ハードなレースといわれるパリ・ダカール・ラリー・オアシス」の優勝マシン「XT500」(フランス・ソノイトヤマハ)と4台のコンペティションマシンが、その輝かしい記録とともにヤマハの限りない技術力、開発力を示して人気を集めていました。

特にモトクロス・サスペンションやリキッドクールシステムに代表されるように、これら最新鋭ファクトリーマシンの技術成果が、これまでとは比べものにならないほどのハイテンポで市販モデルへとフィードバックされていることを、お客さま

# スクーター時代をリードするヤマハ

## 暮らしに根づいたヤマハスクーターに幅広い層の関心



↑キャンパス・ギャルも特別出演で行動的なスクーターライフを披露

↓4機種にのぼるヤマハならではのラインアップで人気を集めたスクーターコーナー

文字通り老若男女、最も幅広いお客さまの人気を集めていたのは、おなじみのヤマハスクーターシリーズです。「パッソル」デビュー以来5年、150万人にのぼる人びとのご愛顧に裏づけられているヤマハスクーターは、今回のショーでも2輪車館を訪れたすべての人にとって最も身近

かな存在だったのです。

やさしさのスクーター「パッソル&パッソルD」美しさのスクーター「パッソラ」本格スクーター「ベルガ」そしてスポーツスクーター「パセッタ」……スクーターコーナーのステージに並べられた5機種は、いふまでもなくヤマハならではのバラエティあふれるラインナップです。

しかも、これらすべてが通産省のグッドデザイン賞を獲得したGマーク商品とあって、時代を超えて、いつも新鮮さを失なわないすぐれたスタイリングに改めて話題が集まっていました。

また、ヤマハスクーターといえば

男性・女性を問わずヤングの間で圧倒的な人気を集めるものですが、こんな最近のユンザー傾向を反映してステージ上には都内の大学に通うスクーターギャルも特別出演。コンパニオン嬢とのインタビューを通じて、ヤマハスクーターの便利さ、スクーターに乗る楽しさ、行動的なスクーターライフの実態を披露していました。

そして、向いの触れるコーナーでは、ヤングのグループ、すてきなカップル、ご家族づれ……と多くの人がスクーターにまたがって、ステッブスルールの乗りやすさ、美しさを確認されていました。



前回は11万人が来場  
111万人が来場

「よりよい暮らし、確かなるま」をテーマに12日間にわたって開かれた第24回東京モーターショー。期間中の総入場者数は前回は11万人も上まわる111万4200人。

入場者数が110万人を超えたのは、73年の第20回ショー以来のこと。この時の会期が14日間であったことを考えれば、今回は空前のもりあがりだったといえそうです。

もちろん、この人気の因はさまざまですが、ニューモデルラッシュとモーターゼーションの定着が要因という見方が衆目の一致したところ。です。



バイクランドも大盛況

二輪車館の大人気とともに、もうひとつの人氣を集めたのが、バイクの正しい安全な乗り方教室の「バイクランド」です。

会場内南ゲート側広場に設けられた約200㎡の特設コースでは、18台の試乗車、40名のインストラクターのもとで、特にマンツーマンによる初心者への親切な指導が人氣を呼んでいました。ベルーガやRZ50など、参加者の好みにあった車種に試乗でき、指導を受けられるとあって、開場と同時に、バイクランドへ直行する入場者もみられ、受付窓口には連日長蛇の列ができるほど。

また、試乗者だけではなく、これを参観する人々にも楽しく理解していただくこうと、観客スタンドも設けられ、家族連れなどでにぎわいを見せていました。

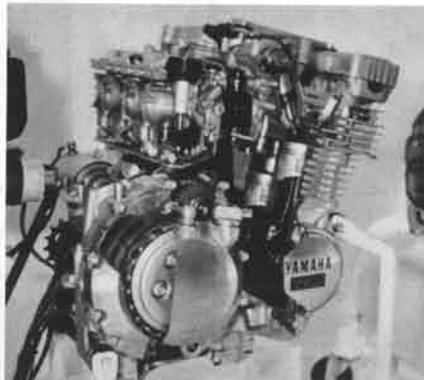
また、試乗者だけではなく、これを参観する人々にも楽しく理解していただくこうと、観客スタンドも設けられ、家族連れなどでにぎわいを見せていました。



ヤマハの先進技術も大解剖

毎回ユニークな企画で人氣を集めるテーマ館。今回は日本の自動車工学の優秀性をさぐるべく、「クルマ解剖学」をテーマに、さまざまな革新メカをわかりやすく、楽しく披露してました。

このテーマのおかげで、「XJ750A」のコンピュータモニター、「パッソラ」のオートマチック2速ミッション、「82YZ125/250」のニューモノクロス・サスペンション、Y.I.C.S.エンジンなどヤマハの先進メカもすべて大解剖されてしまいました。これがメカ好きのヤングには大好評。Y.I.C.S.のカットエンジンや機構紹介ビデオに皆熱心に見入っていました。



XJシリーズのY.I.C.S.エンジン



'82YZ125/250のニューモノクロス・サス

かくれた人気者「ヤマハカート」



高性能スーパースポーツがざらりと居並ぶ2輪車館、流麗なスタイルの最新モデルが所狭しと置かれた乗用車館……そんな中で、かくれた人氣を呼んでいたのが小さなスーパーマシン・ヤマハカートです。

写真は、商用車館でいま人氣のレクリエーションナルビークル、トヨタ・ハイラックの荷台に積まれた2台のヤマハカートですが、この他にも、ヤマハコーナー、JAF展示場のカートコーナーと会場内のあちこちに置かれて大きな人氣を集めていました。

# BIG SENSATION YAMAHA

ヤマハは夢をかたちにする



## BIG SENSATION YAMAHA

ヤマハは、夢をかたちにする。

ターボエンジン技術とエレクトロニクスの導入に話題が集中した第24回東京モーターショー。その中で、モーターサイクルにおけるこれらの最も先進的な技術を紹介、2輪車館の人気をさらったのがヤマハコーナーです。

ヤマハだけのふたつのターボ、世界初のドライブ・コンピューター、機能とデザインを最高度に調和させた先鋭的なスタイリング……それらは、まさに近未来のモーターサイクルの姿をみごとに具現化したものとして、技術革新への挑戦・レース活動やスクーター時代をリードするヤマハスクーターシリーズとともに、つめかけた人びとの夢を大いにかりたてていました。

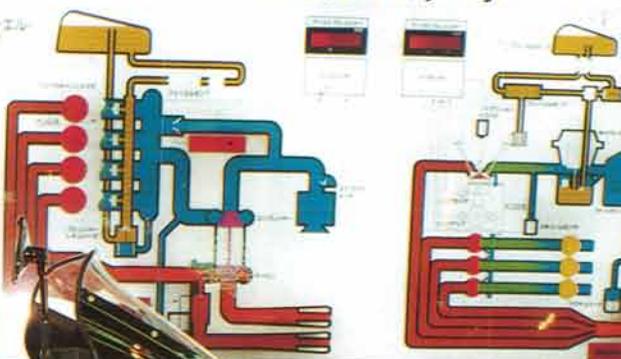
YAMAHA CYCOM SYSTEM

ドライブコンピュータ  
エレクトロニクスメーターシステム



鮮烈。2つのターボ

エンジン・システム



YAMAHA XJ1100 TURBO

# のターボ。

# XJ1100 TURBO

インジェクションターボの「XJ1100ターボ」と世界初のキャブターボ「XJ650ターボ」



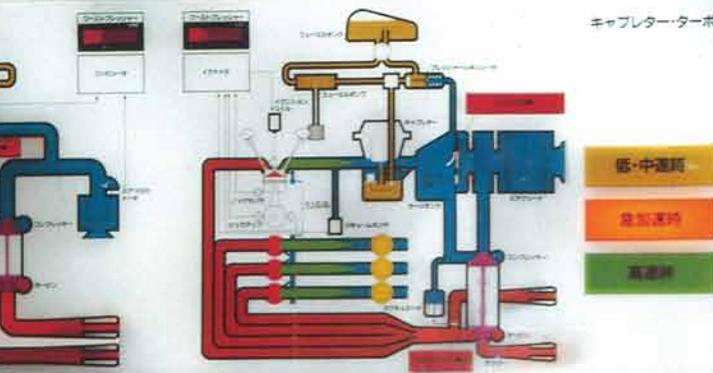
↑「XJ1100ターボ」には、世界初のモーターサイクル用ドライブ・コンピュータを組み込んだ「ヤマハ・サイコム・システム」を搭載



↑10項目におよぶドライブ・コンピュータの機能は、このファンクション・スイッチでワンタッチでセレクトできる

←エレクトロニック・フュエル・インジェクションにリードバルブ、Y.I.C.S.とヤマハの複合技術から生まれたヤマハ・ニューターボシステム

ヤマハ・エアロダイナミック・フェアリング



YAMAHA XJ650 Turbo (輸出モデル)

参考出品中

鮮烈。2つ

# XJ650 TURBO

「おお、ヤマハにはふたつのターボが！」と話題を集めたエレクトロニック・フュエル...



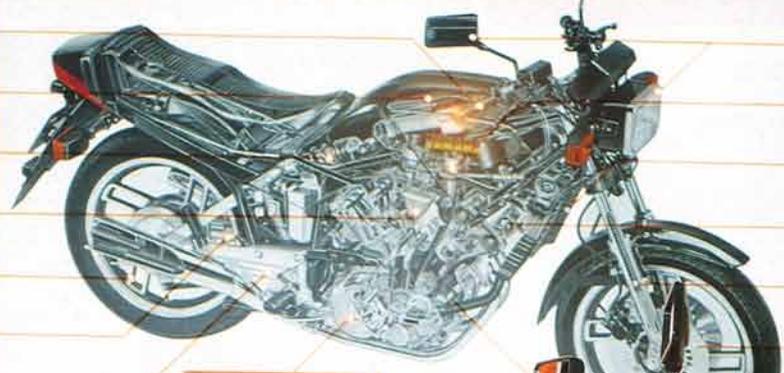
↑「XJ650ターボ」にはカラー液晶表示のコンピュータモニターを装備  
→この革新的なスタイルがモーターサイクルの近未来像を予告する。このフェアリングによってマン・マシンの一体感は飛躍的に向上



↑ターボチャージャーの搭載を忘れさせるほどコンパクトなエンジンまわり

スーパー・スポーツの概念は変わる。先駆のVスポーツ XZ550 水冷DOHC8バルブY.I.C.S.

- アジャスタブル  
ハンドル(3段階)
- 大容量  
フューエルタンク
- モノクロス  
サスペンション
- Y.I.C.S.
- ニューキャスト  
ホイール
- シャフトドライブ
- アルミ  
マフラーステー



70°Vツインエンジン

- 角型ミラー  
角型ヘッドライト
- ダウンドラフト  
キャブレター
- ラジエーター
- DOHC(8バルブ)
- トレーリングアックスル  
フロントフォーク
- ダブル  
ディスクブレーキ
- バランサー



**YAMAHA XZ550 (輸出モデル)**

1. 型式	YP550A
2. 年式	1985年
3. 排気量	549cc
4. 最大出力	42.0kW (57.0ps) / 6,000rpm
5. 最高速度	180km/h

参考出品車

# XZ550

まさに衝撃のデビュー、話題のVスポーツ「XZ550」

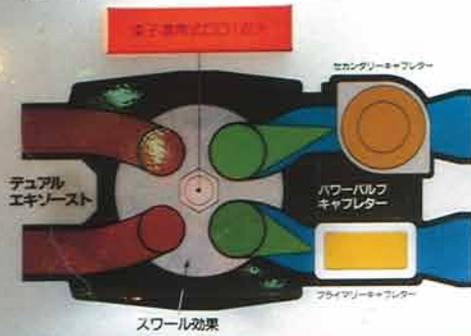


↑「XZ550」のメーター。ハンドルは3段階にアジャストできる

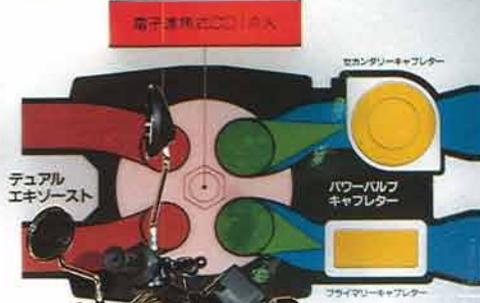
←このスリムなスタイルが、スーパー・スポーツの概念を変える「XZ550」の強烈な走りをも語る

オフロード・マシンの世界が変わる。先進のエンデュロ XT550 画期的な吸入システム Y.D.I.S. 搭載

低・中速時



高速時



# XT550

オフロードのヤマハが、またまた先進技術を投入、"Y.D.I.S."の「XT550」



←「おおキャブがふたつ、エキパイも2本！」これが画期的な吸入システム "Y.D.I.S."。



→新開発の70°Vツインは、水冷・DOHC、8バルブにY.I.C.S.とハイメカニズムの結晶



チャレンジは限りなく。  
**YAMAHA SPORTS SPIRIT**

内外の主要シリーズで活躍めざましいファクトリーマシン群。モトクロス—YZM250/500、ロードレーサー—YZR500に、パリ・ダカルラリー出場のXT500も



こちらはフロア—いっばいに並べられた現行モデル。XV750スペシャルやXJ750A/Eにまたがるアダルト。RZに人垣をつくるヤング、そしてスクーターを

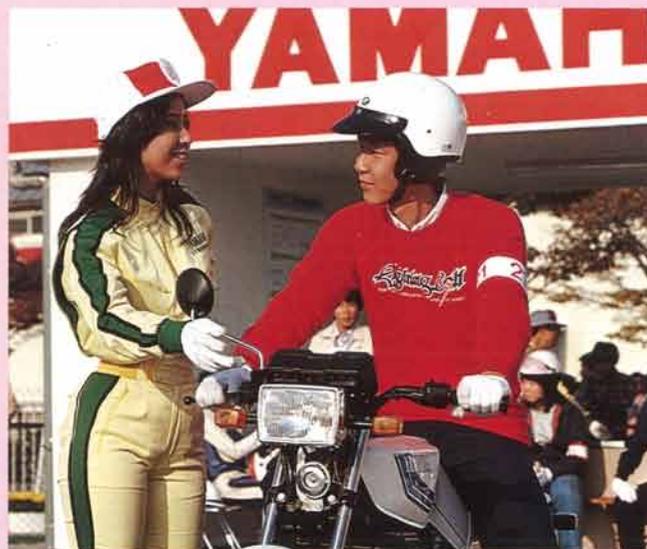


のぞき込むご家族づれ……世代をこえて、性別をこえて、人びとの暮らしに根づいたヤマハの姿。

# スクーター時代をリードするヤマハ



パッセル以来150万台のご愛顧に支えられたヤマハスクーターシリーズ。その豊富なラインナップに話題集中



モーターショーの人気コーナー「バイクランド」。スクーターと50ccスポーツに分かれて、インストラクターの指導で正しく、楽しい乗り方教室

# Yamaha Showroom



冬將軍の到来が例年になく早かった今年、北の地方では早くもヤマハ除雪機が活躍を始めています。家庭用除雪機〈スノーメイト〉YSM-250と小型除雪機YT-665、どちらもヤマハのエンジン技術から生まれた冬場

の主要商品です。特に、<sup>®</sup>奥さまタイプ。のスノーメイト(写真)は、いまや<sup>®</sup>一家に一台、雪国の冬のくらしの必需品。奥さまを除雪作業の重労働から解放して好評を博しています。

### ●運転免許証の新規・再交付が大幅スピードアップ

運転免許証の交付手続きが、来年から大幅にスピードアップされることになりました。

いま横浜市、名古屋市など即日交付ずみの一部を除いて、交付を申請しても、免許証を手にするまでに3〜10日もかかっています。その上、多くの都道府県では警察署や免許試験場に2度も足を運ばなければなりません。これではすぐに免許証の必要な人や忙しい人にはたまらない、というのがドライバーの不満のタネ。

これを解消しようと、警察庁は、免許証の新規取得と再交付(紛失、盗難など)に限って、来年1月20日から即日交付を実施することにしました。また、3年ごとの更新の場合も、秋田、福島、京都、宮崎の4市で来年1月から、札幌市で4月からと、58年1月までに、順次即日交付に切り替えていくことになったのです。これが実施されると、合格、申請から免許証を手にするまで2時間足らずですむようになります。

また、更新時の法規などの講習についても、これまで実施してきた一律方式をやめ、ドライバーの質や層に応じた講習に切り替えるため、その方法を検討中とか。こんなスピードアップなら、大いに歓迎ですね!

### ●足元しっかり、快適走行!

①空気圧不適②異常摩耗③溝のへり過ぎ……日本自動車タイヤ協会がこの夏、東名高速道路浜名湖SAで乗用車のタイヤ点検をしたところ、こんな整備不良が多かったそうです。点検の対象になった乗用車は248台。うち9%の車になんらかの不良がみつかっています。

一方、ドライバー210人へのアンケートでは、出発前に自分でタイヤ点検をした人78人、GSのサービスマンに点検してもらった人69人。自分で何を点検したかといえば「空気圧」がトップ。それなのに、実際には「空気圧不適」が一番多いという矛盾したデータは? やはり空気圧の点検はゲージを使って、きちんとやった方がよさそうですね。

また、残りミゾ、1.6mm(二輪は0.8mm)未満のタイヤは使用できないということをまだ知らないドライバーが40%もいました。

エンジンばかりに気をとられてタイヤの点検を疎かにすると、足元をすくわれる。——なんてことにもなりかねません。

### ●スベア・ヘルでタンデムOK!

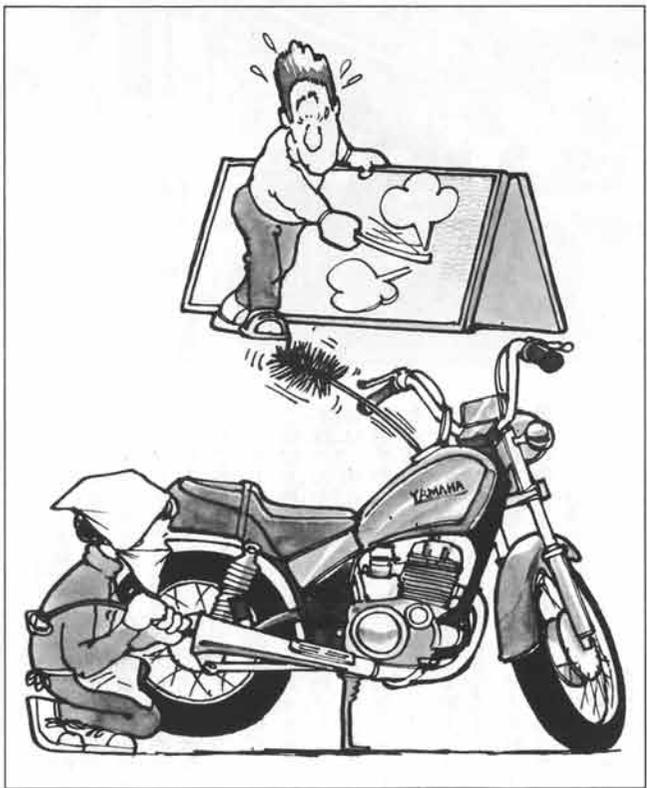
日本各地に、若者の街といわれるところがたくさんあります。そんな所で今しきりに目につくバイクの傾向が現われています。そう、リヤのヘルメット・ホルダーにスベア・ヘルをぶら下げたヤングが多いこと。

ライダーは自分のヘルメットをしつかりとかぶっているのですから、このスベア・ヘルは? これがじつは、タンデムOKの合図なのです。

急に友人に出会ったり、すてきな彼女(彼)と意気投合してもノーヘルでは「リヤに乗りなよ」とはいけません。そこで賢明なヤングは、備えあれば憂いなし。とばかりに、スベア・ヘルを用意しているというわけ。スポーツバイクのヤングユーザーには、これからはヘルメットをふたつおすすめしなと、ナウいお店とはいえないのかも知れません……ヨ。

### ●女性ライダーはポニー・テール

一方、最近ではヤングに負けず劣らず



元気の良い女性ライダーの間では、「ポニー・テール」が大流行。革ジャンにブーツ、フル・ヘルでファッションを決めて、テクニクでも男性顔負け。マシンもファッションもそれなりに個性的なのです。髪型だけはみんなポニー・テール、例の馬の尻っぽ型。ヘルメットの下からチョロリと先端をのぞかせているところが、なんともニクイのです。

バイクに乗るには男も、女も関係なし。とはいってもどこかで、「女らしさ」を主張したいという、なんともかわいいう女の子の表われなのでしょう。

### ●地ウイスキーが人気上昇中

「チェリー」(福島)、「モンテクリスタル」(山梨)、「オールドハレー」(埼玉)、「J・B・A」(静岡)、「ラッキーサン」(愛知)……さて、これは何の名前かわかりますか。これは地ウイスキーの名前

なんです。最近の地酒ブームがウイスキーに飛び火したのか、デパートの売り場には「地ウイスキー」のコーナーまでできるほどの人気で、左党の目をググッと引きつけています。

作っているのは地方の清酒メーカー。清酒の一升(1.8リットル)ビンをそのまま使っていますから、姿、形はよくありませんが、それだけロスが少ないので値段が安くなっています。

等級のほとんどが二級で、値段は一本1200円から1400円。一流メーカー品の徳用サイズ(1.3リットル)二級の1980円と比べると割安ということがよくわかります。

味の方は、いま主流のライトタイプ。口当たりがたいへんいいと好む人が多い反面、なにかもうひとつ物足りないという人もいます。売行きは好調のようです。



↓25坪とゆったりとしたサービスコーナー。きちんと整理されたパーツ類、工具類が「カワモトオートショップ」さんの技術力を物語る



↑サービスコーナーの地下を倉庫に利用。こんなパワーリフトで、出し入れが行なわれている



カワモトオートショップ

川元光一社長

兵庫県神戸市灘区烏帽子町2-3-17 ☎078(882)0015

'81-12

神戸から大阪まで広がる商圏

# 6人のスタッフが すべてのお客さまを喜び 「カワモトオートショップ」好評です。

いよいよ師走。ポトピアの余韻さめやらぬミナト神戸の街にも六甲おろしが吹き始め、国道2号線の往来も日毎に慌しさを増しています。

そんな中で、今年もまた「4ヶタ販売」を実現する「カワモトオートショップ」さんのご商売も最後の追込み。川元社長以下5名のスタッフの動きも、日一日と熱を帯びているところです。

## ●ご商売拡大をめざして 国道沿いに出店

年間販売台数1200台を越えるという「カワモトオートショップ」さんのご商売を語る時、まず第1に挙げられるのが有利な立地条件でしょう。

もともとヨコに長く、坂が多いという神戸の地形にバイクが最も便利で、最も手軽な交通手段なことはいうまでもありませんが、お店は神戸の生活道路といわれる国道2号線に面し、しかもこの沿線に10店もの販売店さんが軒を並べている、いわば「バイク通り」の一角にあるのです。

しかしながら、9年前の創業時からここでご商売を始めたわけではありません。5年後の51年3月「販売店は立地！」と川元社長は、現在の所に本拠を移されたのです。

「バイク販売というのは、既存のお客さまを大切にすることはもちろんですが、やはり新規の開拓を進めなければ商売も拡大しませんね。そこで「カワモトオートショップ」という店の存在を知らせ、潜在ユーザーを触発する第1の条件として、交通量が多く人の目に触れやすい場所に移転したのです」

商店街のはすれにあった旧店舗をスクーター主体の支店（水道筋店）として、400メートルほど離れた現在のテナントビルに出店



↑店頭から、店内壁面の二段展示まで、スクーターから750まで約100台が展示されている。

→川元光一社長（中央）と奥様マサ子さんを中心にスタッフのチームワークもがっちり



## カワモトオートショップさんのご商売の概要

- 立地……神戸市の“生活道路、国道2号線に面し、周辺には10店の競合店がある。
- 商圏……ビッグバイクは阪神地区全域が商圏。また神戸市内の5つの大学の生協ともタイアップ。
- 店舗……総面積55坪、内展示コーナー30坪、サービスコーナー25坪、展示台数約100台。4階建てナントビルの1階。本店から数百メートル離れた水道筋店（旧店舗）がある。
- スタッフ……川元社長、奥様マサ子さまの他従業員さま4名の計6名が、セールスとサービスに当たっている。
- 広告活動……3ヵ月に1度、地元の神戸新聞に1/2面の広告を出稿。
- スポーツ活動……会員20名のモトクロスチームがある。また20名のツーリングクラブもあり、月2回の割でツーリング大会を実施。

「プは、打って出る程度が難かしいですね……あまり積極的に出すぎてもいけない」ということですが、このタイアップの効果は生協での実売ばかりでなく、これが糸口となって直接来店される大学生ユーザーが多いということ。

また、この秋には、10月16日から11月5日まで、神戸大学の構内でカワモトさんの「スクーターフェア」が開かれましたが、確実に10数台の実績を上げられています。

## ●大規模なご商売を支えるサービス精神

された動機を川元光一社長はこのように話されていますが、川元社長のこの言葉を裏づけるように4階建ビルの屋上には「YAMAHA」の大きな広告塔がそびえています。

そして、こうした立地条件だけに、当然のことながらご商売も商圏を絞り込んだキメ細かいものから、広い範囲に及ぶダイナミックなものへと変わっているのです。

「うちはスクーターやソフトバイクが70%、残り30%がビッグバイクですが、立地がらビツグは阪神地区一帯、スクーターは人口140万人の神戸市全域が商圏といえるんじゃないでしょうか」

## ●5大学・生協とのタイアップも

しかしながら、こうした中でも地域特性ががっちり活かしただち密なご商売がないわけではありません。それは、大学の生協とのタイアップです。昭和55年の秋から始まったキャンパスへのアプローチは、いまや神戸大学、神戸外国語大学、甲南大学、関西学院大学、大阪大学と5つの大学に及び、各生協を通じての売上げは、総販売台数の4分の1を占めるに至っているのです。

「特に神戸市内の大学は、交通が不便なうえに、坂も多いので通学の足としてバイクが重宝がられているのです。そのため、うちでは各大学の生協とタイアップしたり、新学期にあわせてキャンパス内で展示会をひらいたり、キャンパス専任の従業員を置いたりといういろいろやっています。でも生協とのタイアップ

さて、こうした広範囲に及ぶダイナミックなご商売を支えているのは、すべてお客さまの立場に立ったサービス精神といえそうです。

川元社長、奥さまマサ子さんに4名の従業員さんというスタッフの増強もそのひとつ。

「私を入れて6人のスタッフが、女性、ヤング、学生さん、アダルト……とお客さまにあわせて受け持ちを決めています。来店していただいたすべての人にきちんとサービスできますし、どんなに来店者が増えても、必ず応待できるようにね」

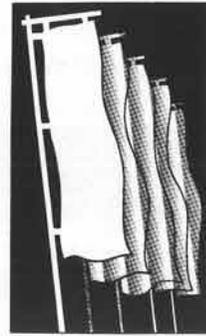
このうち4名のスタッフは、そのままサービスも担当されているのですが「アフターサービスには特に力を入れています。納車後のメンテナンスは万全ですよ」と、皆さんなみなみならぬ自信です。

また、お店のお客さまを対象に定期的に発行されている「ワモトオートショップ・バイグニュース」もこのサービスの一端です。

お店の催しや特別セール、下取車の中古車情報がキメ細かく伝えられ、お客さまに喜ばれているのです。

「お客さまの立場に立って、無理なことでもお客さまの希望はできるだけ聞くようにしています」という川元社長の言葉に、このサービス精神の真実がうかがえるよう。

こうした活動と、3ヵ月に1度のペースで約60万円をかけ、地元神戸新聞に出稿されている3分の1面広告の効果も相まって「カワモトオートショップ」さんは、広範な市場に



前号では広告を入れる「入れ物」ともいべき媒体について考えました。今回はその広告の「中身」、内容や表現を考えてみましょう。12回にわたっておつきあいいただいたこのシリーズも今回をもって終了します。

## 広告テーマの決定規準は

# なにが、最もお客さまを動かし、 売上げに結びつくか

### 商品を売る広告、お店を売る広告

前号でも述べましたように、ただ漫然と「しないよりは、した方がましだろう」という程度の気持ちで広告をしても、その効果はほとんど期待できません。新聞折込みチラシひとつをみても10数枚も一度に折込まれてくるのですから、よほど内容がしっかりしていなければ目にもとまらず、無視され、捨てられてしまわうでしょう。そこで、広告の内容、つまりキャッチフレーズやコピー(文章)、写真や絵が重要になってくるのです。今月は、この広告の内容について、最も身近かな折込みチラシを例に考えてみましょう。

まず第一に、「何を訴えるか」というテーマがはっきりしていなければ、「どう訴えるか」もはっきりしないということですが、

販売店さんの場合、訴えるテーマとして大きく分けると、「商品を売る」と、「店を売る」との2つに分けることができます。

「商品(オートバイ)」を売る「場合の具体的なテーマを挙げてみると――

- ①新車の発表(発売)
- ②オートバイの便利さ
- ③経済性・省エネ
- ④時間の節約
- ⑤ライドインクの楽しさ
- ⑥便利さ(交通渋滞や駐車場問題での利点)

一方、販売店として自分の「店を売る」場合なら――

- ⑦ファッション性
- ⑧六輪使い分け
- ⑨関連用品の説明
- ⑩その他
- ①新規開店
- ②親切さ、誠実さ
- ③豊富な品揃え
- ④高度な技術水準
- ⑤クレジットによる販売
- ⑥点検サービス
- ⑦免許教室
- ⑧乗り方教室

⑨展示・試乗会  
⑩プレゼントセール  
等が考えられるでしょう。

これらのテーマのうちのどれかを訴えるわけですが、訴えるテーマはいつもひとつとは限りません。2つ、3つになることもあるでしょう、しかし1つだけに焦点を絞って訴えた方が、訴求力が強くなることは当然です。

この際、どのテーマを選定するかは、お店の主体である顧客層や、競合店との関係などによって決めます。この判断は、きわめて重要なものであり、それだけにまたむづかしいものです。そこで、どんなテーマがいま一番顧客を動かすことができるか、売上げに結

「つつけやすいか」を判断標準とすればよいでしょう。

## 表現上の留意点

つぎに、チラシ広告などを作成する時の表現上の問題も少し考えてみましょう。

- ①テーマははっきりして、わかりやすいか？  
チラシなどの広告を出すということは、消費者に対して何かを訴えることです。テーマがはっきりせず、一体何をいいたいのかわかりずらい（消費者）にもわからないような広告では、結局はなにも広告を出さなかったのと大差ないこととなります。
- ②消費者が読むに値する内容か？  
時どき、ひとりよがりでお客さまの目から見れば何の役にも立たないような広告というのを見受けられます。消費者にとって何らかの「ニュース」がなければ読むという気にはなりませんし、読んだとしても「店に行つ

てみよう」「商品が欲しいな」という気は起こらないでしょう。

前述の「店を売る」テーマで⑥以下は、催事とかイベントとかいわれるものですが、それ自体がニュースになる内容です。こういう活動を知らせることも広告の重要な役割りなのです。

- ③らしさがあるか？  
10月号の本欄で広告には継続と反復がなければ効果を上げにくい、と書きました。しかし継続や反復をしても毎回まったく異なった表現の広告を出したのでは、それを見る消費者も覚えていられません。「お店らしさ」を出すことが大切です。これは、お店の雰囲気にあわせてらしさが出て、そのお店のイメージができ上がるということなのです。

## 「読ませる」広告への工夫を！

広告の表現上のポイントは以上のようですが、では実践的な表現の技術が上手になるにはどうしたらよいか、も考えておきましょう。まず第1は、より多くのチラシや広告物を見ることです。毎日の新聞に折込まれてくるチラシにも目を通さないでゴミ箱へ直行はいけません。



せん。その中で受け手の立場で良いと思うものがあれば保存しておきます。むしろ他業界のチラシの方が参考になることが多いでしょう。また新聞や雑誌でも、日頃から広告に気をつけて目を通しておきましょう。特に気に入った広告は切り抜いてファイルしておくぐらいいの関心は持たないものです。毎日少しづつ見ていると自然と目が肥え、良否の判断もできるようなりますし、最近の一般的傾向もつかめてきます。

ちなみに、最近の広告の一般的な傾向を整理してみると、表現上から「印象広告」と「説得広告」のふたつに分けることができます。印象広告というのは、文字は少な目にしてイラストや写真でムードを訴えるものです。これに対して説得広告は、文字を多くし、細かく説明しているというものです。最近の広告

## 行動するだけのお店から考えるお店に！

さて12回にわたりおつきあいをいただいたこのシリーズも今回で終了します。昨年の「販売促進12章」も含め、のべ24回にわたってストアマーケティングの基本的な考え、物の見方を書いてまいりましたが、このたびこれを一冊の本にまとめました。「みつ峰商法」という書名で産業能率大学出版部から出される全国の書店で販売されます。

今回、この単行本としてまとめるために読み返してみ、自分なりに感じたことをこの稿のまあとに代えて述べておきます。

まず第1は、オートバイ業界は、わずかの期間に驚くほど大きく変化したこと。量的な面ばかりでなく、それまで需要対象としていなかった「女性層」という新しい顧客を迎えることにより、一部のビジネスユーザーやマニア中心の販売方法では通用しなくなっており、それに対応してかなりの変化がなされたということです。これは販売店さんメーカーはじめ業界全体の努力の成果ともいえるでしょう。

では後者の説得的な広告が増えています。消費者が商品の購入に当って、より多くの情報を求めているから、といえるでしょう。特に、チラシ広告に関する調査では「内容まで注意してよく読む」という人がかなり多いようです。販売店さんのチラシ広告も、もう少し読ませるような内容の工夫をされてもよい時期にきている、といえそうです。

最後に、広告というのは広く一般に行きわたるものです。いわば社会に対して行なう約束とか宣誓のようなものであり、その内容は当然販売店さんが責任を持たなければならぬことです。けっして嘘や偽りがあつてはなりません。そのためには、販売店としての姿勢や体制を確立させ、それを広告として訴えていくのだ、というくらい心の構えを持ちたいものです。

そして、今後どうするかが、この次の問題として生まれてきます。量的に、これまでと同じペースの伸長が今後もずっと続くとは限りません。そこで出てくるのが収益の向上と安定化ということになります。これへの対応がこれからの販売店さんの課題といえます。

今までは、ひとつのテクニク、ノウハウが提供されて、それを忠実に実践すればある程度の成果が上げられていました。店舗装飾、免許教室、展示試乗会などがその例です。

しかし、今後は、これさえやっていたら、という単純で、強力な手法はなかなか出にくくなってきます。販売店さんが自分のお店と市場にあった独自の手法を考え出さなければなりません。

そこで、求められるのが「考える力」です。今後、バイク販売店さんが伸びるか否かは、ひとえにこの「考える力」にかかっていると見えます。行動するだけの販売店さんから考える販売店さんへ——これこそ、これから期待される販売店さんの姿です。（おわり）

このページは、ヤマハ奥さまのためのスペースです。奥さまの話題や奥さまから寄せられたメッセージ、さらに奥さまにお役立ていただける情報のかずかずをとりあげてまいります。ぜひ奥さまもこの誌面にご参加ください。なお、ご投稿の宛先は、  
 〒438 静岡県磐田市新貝2500  
 ヤマハ発動機株式会社 宣伝部 宣  
 伝一課 ヤマハニュース係  
 ☎05383-2-1111(内356)

「店に出る主人とわたしのチームワークをお客さまは敏感に感じとる」とおっしゃる福島さん。それだからというわけでももちろんありませんが、ご主人のお仕事をバックアップし、細かなところまで心くばりのやさしい、内助の功、ナンバーワンの奥さまです。

●お店を始められてからまだ日が浅いとのことですが、ええオートバイ店を始めて、まだ2年ちょっとなんです。主人はずっと車の修理をやっていたし、私は看護婦をしていました。だから商売のことなんて全然わからなかったのよネ。でも2人で少しずつお金をためて始めたお店だから、なんとかガンバツテ大きくしていきたいとハリキッてるんです。

●それでは色いろご苦労もほんとはわからないことばかりでしたね。でも「パワーアップセミナー」とかヤマハニュースなんか、とてもいい商売のコーチになつてくれるんですよ。特に毎回色いろなテーマを取りあげてくれる奥さまセミナーは、とても参考になるし、参加するたびに自信がついてくるので本当に助かりますね。

●ご主人との仕事の分担はどのようにされていますか、どこの販売店さんの奥さまも同じだと思うんですが、うちの主人は修理専門なんですよね。だから私の仕事というのは、書類の整理や部品管理などですね。それに保険とかバイ



## 主人をサポートするのが主婦の仕事 内助の功ナンバーワン奥さま

福島利恵子さま 神奈川県大和市桜ヶ丘・福島オート(福島照美社長)

クの登録とか、外回りでもやれることは何でもしますヨ!

●そんなお仕事のなかで特に気をつかっている点は、やはり商売の中心になるのは主人です。私はその補助的な役割をこなすようにしています。特別気を使っているのは私と主人と2人だけなのでなるべく協力し合うようにしていますね。

●2人で仲よくお仕事されているということ

ですか、それがお客さまに対しても、一番良いことなんじゃないかしら。主人がトライアルクラブをつくっているんで、若いお客さまも多いんですよ。若い人ってお店の雰囲気にとっても敏感なんですネ、だから2人のチームワークを大切に、明るいお店づくりをするように心がけているんです。

●家事のことがお子さまのことも、店と自宅とが、20kmぐらい離れているんですよ。だから朝店に出ると、夜8時すぎまで

は家に帰れないんです。子供は3才と5才の男の子がいるんですが、両親とくらししていますので家事や子供のことは両親にやってもらっています。ですから両親にはとても感謝しているんです。

●今後の抱負などをひと言、店が狭いので、広い店にしたいですね。それと主人の夢でもあるんですが、トライアルの専門コーナーなどもつくりたいですね。あ、それと暇をつくって水泳もやりたいワ。私、泳ぐの大好きなんです。

# 私のこの1年

早いものでもう師走。泣いても、笑ってもあとわずかです。そこで冬の夜のひととき、静かにこの1年をふり返ってみる、などというのはいかがです。心残りのことばかり……でもそれが次の目標にもなるんです。

## お客さまと友達のような会話で

楽しい1年でした

久保頼子さま

北海道室蘭市

サイクルプロショップポポ(久保孝副社長)

今までお客さまとの関係は、売る、買う、という感じてしたが、友達のような気持ちで気軽に話ができるようになったことが、今年一番嬉しく、プラスになったことですね。大学生や社会人のお客さまが増え、お客さま同士のツーリングクラブも活発で、お店でツーリングの話をしたり、写真を見たりしている中に私が自然に溶け込んで行っただけです。何



がお客さまと連帯意識がもてて、お店にいるのが楽しい1年でした。

今年最高

いま私はバイクに夢中なんです!

千葉とよ子さま

岩手県東岩井郡

(有)マルセン自動車工業(千葉幸男社長)

バイクを売って始めて1年ちょっとになりましたが、最近大型バイクのお客さまがよくお店に集まってくるんですよ。「みちのく二輪愛好会」というんです。天気の良い日なんかはトレール50で、近くのお寺へ行ったり、男鹿半島へのツーリングに同行したこともあり。早く大型免許を取りたいのですが、主人なら「お前には足がとどかないから無理」です。いま私はもうバイクに夢中なんです。

パーツナンバーを暗記でき

商売にもハリができました

相沢良子さま

東京都荒川区

(有)アイザワ商会(相沢光孝社長)

私5月から部品の係をしています。それまでは接客ぐらいで、あまりタッチしていませんでした。部品となると、パーツナンバーや使用箇所を覚えなくてはいけないので、それからは勉強。おかげさまで、今では大体わかるようになりました。これが今年最大の収穫ですね。近ごろでは、私も商売に深くかかわって、助けてくれるんだなあっていうことを実感しています。

できなかった家庭サービスは

これからの冬場に頑張ります!

佐々木美喜さま

石川県金沢市

第一ヤマハ販売(佐々木正道社長)

主人が4輪をやっている関係で、私が2輪の責任者。それだけに商売の成否が私の成否でもあるんですよ。その点、今年はベルギーを中心にスクーターブームがすごかったの、まずまずの成績。まあ点数をつけるとしたら80点以上というところ。

でも、家庭のほうといえどもこちらはサッパリ。子供にも迷惑のかけつばなしなので、この冬場に全力投球で家庭サービスに頑張ろうと思っているんです。

積極的な接客で

今年が充実していました!

中島和子さま

愛知県西春日井郡

三ツ葉商事中島自転車モーターズ販売(中島経己社長)

私の担当はクレジット、保険、接客なんです。いつでも明るくほがらかに、そして気軽に話せるようにをモットーにしていますが、特に接客には今年かなり自信をつけました。この春、フラットとみえたお客さまが、私の積極的な推めてお買い上げくださったこともあったんですよ。また、ヤマハ奥さま全国大会に出席して、よい刺激になりました。お友だちもたくさんきてヨコの連絡も十分とれるようになり充実の年でした。

家事はともかく、仕事と趣味は

まあまあ成績といえるかしら

高田愛子さま

滋賀県大津市

清江オート(高田清社長)

主人とふたりで仕事をはじめて10年。私の仕事も集金や銀行回り、登録から、納車とそ

の際の乗り方指導までたいぶ幅が広がり、この1年はそういう意味で過去10年の集大成の年ともいえるみたい。とくに昨年受講した指導員研修会での成果を実際の仕事で発揮することができて、まあまあ成績を残せたように感じています。また、趣味のスポーツ、ママさんバレーも好調なので上々。まあ、家事はともかくとして後悔のない年でした。

家族ぐるみのツーリングクラブ

来年が楽しみです!

国見シゲミさま

徳島県徳島市

国見商会(国見政美社長)

仕事に、遊びにと充実した年でした。ヤマハ奥様全国大会に参加し、いろいろ勉強できたこともいい思い出です。

それと、11月に「トリプルワン」という家族ぐるみのオートバイククラブを、お客さま中心となって作れたこと。30名のクラブ員の中には大学生も、奥さまも、40歳を過ぎる方もいるんですよ。キャンプ、スキーなど、家族ぐるみのツーリングプランを考えています。来年はうちの20周年。また忙しくなると思いますが頑張りたいですね。

やはり印象に残っている

ヤマハ奥様全国大会

後藤トミ子さま

大分県日田市

後藤モーターズ(後藤一幸社長)

いろいろ忙しい1年でしたが、やはり印象深いのはヤマハ奥様全国大会に出席したこと。初めての工場見学や平岩弓枝さんの講演、スペシャルセミナーでの桐島洋子さんのお話しなど、ほんとうに自分の視野が広がったと思います。お店での自分の役割が大切だということを感じました。

残念だったのは、夏のツーリングに、忙しくて参加できなかったことですね。でも来年は、主人の後ろに乗るのではなく二人で走ってみたいと考えています。



# Yamaha Topics

ヤマハニュースは  
販売店みなさまの  
情報誌です。



お店のみなさまがつくる、みなさまのための「ヤマハニュース」をめざして、積極的な誌上参加をお待ちしております。ご商売にまつわるさまざまな話題、明るいニュースなど、どんなものでも結構です。お電話で、お手紙でどうぞお気軽にお寄せ下さい。取材要請、ご質問、ご相談もどうぞ。宛先は——  
〒438 静岡県磐田市新貝  
2500 ヤマハ発動機株式会社宣伝部宣伝一課  
「ヤマハニュース」係  
☎05383(2)1111 内線356

★この他の当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

## 応募総数100万通!!

### ヤマハ★オールスクーター★クイズ

#### 当選者決定

「スクーターはヤマハ」——ヤマハスクーターシリーズの知名度アップと商品理解の促進をはかって、8月1日から10月10日まで展開していた「ヤマハ・オールスクーター・クイズ」は、98万2271通という応募総数を集めて終了しました。この種のオープン懸賞としては記録的ともいえるこの応募数は、そのままヤマ

ハスクーターに寄せられる関心の高さを物語っているものといえるでしょう。中でも女性の応募が圧倒的に多いのも、今回のキャンペーンの大きな特徴です。そして、去る10月21日に東京において抽選会が行なわれました。

大ホールいっぱいにならべられた100万通のハガキは、(A)ペルーガコース (B)パツソラコース (C)パセッタコース (D)パツルコースに分類され、消費者代表、築地警察署、ヤマハ代表など関係者の見守る中で厳正な抽選が行なわれ、2890名にのぼる当選の方が次のとおり決定しました。

#### A・ペルーガコース (賞品ヤマビアン)

- ▼安部伊勢松様 山形県西置賜郡白鷹町
  - ▼御代田よし子様 福島県郡山市田村町
  - ▼山科 英子様 埼玉県新座市畑中
  - ▼広島真裕美様 神奈川県川崎市多摩区
  - ▼佐溝 孝子様 岐阜県海津郡南濃町
  - ▼北川 廣美様 大阪府寝屋川市国松町
  - ▼水谷 幸子様 大阪府松原市高見の里
  - ▼寺田 安美様 岡山県笠岡市宮地
  - ▼金子 博様 香川県高松市円座町
  - ▼木原 幹夫様 大分県別府市南のヶ浜
- 以上10名様

#### B・パツソラコース (賞品ヤマスキー)

- ▼岩瀬美奈子様 札幌市中央区南4条
  - ▼三橋 実様 青森県西郡森田村
  - ▼渡辺 好子様 岩手県盛岡市上堂
  - ▼青柳 邦雄様 茨城県水戸市笠原町
  - ▼安田 啓之様 東京都足立区足立
  - ▼石黒 友子様 石川県金沢市寺町
  - ▼内藤みはる様 山梨県甲府市羽黒町
  - ▼加藤喜久子様 名古屋市中区久方
  - ▼川端喜久子様 大阪市旭区赤川
  - ▼山口 麗子様 鹿児島市宇宿町
- 他190名様

#### C・パセッタコース (賞品ヤマボータサウンド)

- ▼福井 淳様 北海道札幌市白石区菊水
  - ▼黒沢 勤様 秋田県仙北郡角館町
  - ▼佐藤 邦子様 茨城県鹿嶋市米町
  - ▼小川 真弓様 千葉県習志野市実親町
  - ▼中田 紀子様 東京都足立区西新井
  - ▼大久保恵理様 静岡県熱海市相の原
  - ▼三宅 茂子様 滋賀県長浜市神照町
  - ▼金原 良次様 徳島市金沢
  - ▼渡辺 純様 福岡県北九州市小倉北区緑ヶ丘
  - ▼荒木 勝平様 長崎県島原市新町
- 他190名様

#### D・パツルコース (賞品ヤマハテニスラケット)

- ▼沢村 信義様 北海道函館市の場町
- ▼阿部 信子様 宮城県塩釜市藤倉
- ▼高尾あゆみ様 群馬県高崎市双葉町
- ▼鳥村 泰一様 埼玉県新座市野火止
- ▼川口 益男様 東京都台東区三筋
- ▼百々 千香様 石川県金沢市小坂町
- ▼浅野 幸雄様 京都市中京区西ノ京
- ▼藤本 洋子様 神戸市中央区楠町

#### E・スクーター賞 (賞品ヤマハオリジナルトレーナー)

- ▼木田 達子様 北海道札幌市中央区宮ノ森
  - ▼北川 昇子様 北海道夕張郡長沼町
  - ▼津川 勝則様 青森県大野市野内
  - ▼金沢 享子様 岩手県盛岡市加賀野
  - ▼相原 悟様 山形県酒田市若宮町
  - ▼中島 洋子様 栃木県宇都宮市東町
  - ▼久保田 勲様 東京都日野市落川
  - ▼北村 恵美様 愛知県岩倉市栄町
  - ▼大平 洋史様 大阪府摂津市昭和園
  - ▼橋本みどり様 熊本県湖東
- 他1990名様



大ホールを埋めた応募ハガキはまさに圧巻。この成果がそのままみなさまのご商売にフィードバックされてゆくのです





# 各地で活発な奥様セミナー

## 盛岡ではツーリング大会、名古屋では軽スポーツ大会

9月のヤマハ奥様全国大会の大功の後を受けて、各地で趣向をこらした奥様セミナーの開催がつついています。

(ヤマハ東北(花巻営業所)冬将軍の訪れを目前に控えた10月18日、みちのく花巻では、ヤマハ奥様の日頃の活躍をねぎらい、互いの親睦をはかろうと14名の奥様が参加して「奥様セミナー・ツーリング大会」が行なわれました。

晩秋の風を切ってスクーターでのツーリングを楽しむ一行は、途中豊沢湖でみちのく名物「いも煮会」とカラオケを楽しんだ後、目的地の志戸平温泉へ。ここでは、化粧品メー

カーの特別講師を招いて、冬に向かつてのお肌の手入法」をマスター。「日頃はめったに楽しめないツーリングやいも煮会、それにお化粧品セミナーまで、みんな一日で味わえて最高！」とは参加した奥様方の共通の声です。

(ヤマハ名古屋(株)一方、ヤマハ名古屋では、この夏の最需要期に、特にめざましい活躍を示されたヤマハ奥様43名を集めて、10月8・9日の2日間にわたる「ヤマハ名古屋奥様大会」をヤマハのレクリエーション施設、三重県の合歡の里で開催しました。



ツーリングの途中では、みちのくの名物「いも煮会」も満喫



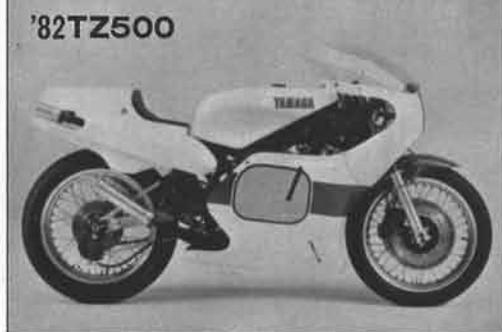
合歡の里でクロケットに興じる名古屋のヤマハ奥様たち

### '82年TZ250/500

#### 新発売!

先に発売された市販モトクロスサーYZシリーズにひきつづいて、12月から市販ロードレーサーTZ250、TZ500の'82年モデルが新発売となります。

特に、ニューTZ500は、'81YZR500のフルレブリカともいえるもので、インライン4気筒の両外側2気筒を後方排気としています。



の軽スポーティ大会というプログラム。参加された奥様は、歓声を上げながら、新スポーツに興じ、ご商売への意欲を新たにされていました。

### '81東京総会ひらかる

#### アジアで初のFIM総会

世界のモーターサイクルスポーツを統轄するFIM(国際モーターサイクリスト連盟、MFJが加盟する国際機構)の'81年総会が11月5日から15日までの11日間、東京・京王プラザホテルで開かれました。今年で102回目を迎える伝統ある総会もアジア地区で開催されるのは初めてのこと。しかも世界の二輪王国・日本での開催とあって41カ国から284名の代表が参加。'82年以降のモーターサイクルレースの各議題に、のべ7日間にわたって熱のこもった討議をくりひろげていました。

また、滞在中には東京モーターショーの見学や国内メーカーの視察も行なわれ、11月13日には約40名の代表が静岡県磐田市でヤマハ本社工場を視察しました。



総会では、各競技の'81年世界チャンピオンの表彰も行なわれた。写真はサイドカー級メーカー選手権の表彰を受けるヤマハ発動機・関根モータースポーツ推進本部事務局長

'80年代のバイク専門店、それは生活圏の交通問題のエキスパートでもなければなりません。交通社会の中でいまだどんなことが問題になっているのでしょうか？ 地域社会の交通問題のリーダーとし

てどんな取り組みが期待されているのでしょうか？ このページにご紹介するさまざまなテーマは、どれも私たちが真剣に取り組んでいかなければならない問題です。

## 急増する原付免許取得者に対応する、免許教室自主開催のために ご参加ください！ ヤマハ原付インストラクター研修会

今年1月から6月までの原付免許取得者数は、ついに50万人の台を突破し、年間でも優に100万人を超えるものと見られています。

この内訳をみると、いくつかの特徴的な傾向がピックアップできますが、ここで改めて実証されているのがヤマハ原付免許教室・乗り方教室の重要性です。こ

うした傾向に対応し、販売店のみならず積極的に自主教室を開催していただくために、ヤマハではこれまで開催してまいりました「ヤマハ原付指導員研修会」の形態を一層強化、'82年度より販売会社、営業所単位で活発に開催していくことになりました。どうぞふるってご参加ください。

### ◎急増し、多様化する 原付免許取得者

1月から6月の上半期だけをとってみても54年40万人、55年44万人、56年51万人……と原付免許取得者数は、依然めざましい増加ぶりをつづけています。こうした傾向の内訳を分析していくと①昨年から今年前半にかけて女性取得者の増加が著しい、②大都市とその周辺の伸長が著しい、③高校生の3ない運動の影響も表われ、男子は18～19才の大学生が増加している、④女性でも10代が前半の倍にまで増え、16才～24才のいわゆるヤングレイディが、女性全体の50.8%を占めている……といった特徴が指摘され、原付免許取得者の多様化ぶりが、まざまざと実証されています。

当然のことながら、こうした取得者の増加と多様化は、原付免許教室のぼう大な潜在受講者の存在を示しているばかりでなく、同時に一層の内容の充実と合理的な開催、ヤング化に対応する開催の工夫を要求していることでもあるのです。いかにいえば、販売店さま

の自主教室の開催と地域に根づいた指導体制づくりが、何よりも求められているといえるのです。

### ◎一新する "ヤマハ原付インストラクター研修会"

さて、以上のような状況を考慮して、ヤマハでは'82年度より、一段と内容を充実、受講しやすい形態で"ヤマハ原付インストラクター研修会"を開催してまいります。

この研修会は、これまで販売店みなさまに自主教室開催の知識と技術をマスターしていただくために開催してきた"ヤマハ原付指導員研修会"を一層強化したものです。そして、研修会の開催も、これまでのヤマハ発動機本社コース、ヤマハ販売会社の営業所単位のブロック別コースにかわり、'82年度からは全国のヤマハ販売会社・特約店、営業所単位で開催してまいります。

いうまでもなく、このシステム変更は、販売店さまに受講の機会を少しでも増やしていただくばかりでなく、地域の特性にキメ細か

く対応した自主教室としていただくためのものです。

それだけに、これから原付免許教室・乗り方教室を自主開催していこうという販売店さまはもちろん、すでに研修済みの方の再研修や"パネル教材"等を利用して指導されているお店のより効率的な教室開催にも、大いにご参考になるはずで、1店でも多くの販売店さまのご参加をお待ちしております。

### ◎3日間の充実したカリキュラム

研修会は3日間にわたり、指導方法からチラシの作り方に至るまで、原付免許教室開催に必要な知識の全てにわたって勉強します。基本的カリキュラムは以下の通りです。

#### 第1日

10時 開講、オリエンテーション  
11時 需要と免許について  
12時 講師の条件  
13時 講義の実習  
20時 討議研究会

#### 第2日

9時 討議研究結果の発表  
10時 講義の実習  
18時 教室のレイアウトの仕方  
19時 受験案内の仕方  
20時 チラシの作り方

#### 第3日

9時 乗り方指導の方法  
11時 指導員審査の内容  
13時 実技訓練  
15時 普及活動ツールの使い方  
16時 閉講、ヤマハ原付指導員認定証授与

この"ヤマハ原付インストラクター研修会"は●販売店経営者●販売店奥さま●従業員さまを対象としたもので、1回の定員は20名。その他詳細は、担当のヤマハマンにお問合わせください。



お楽しみください！ みちのくの冬

# スポーツランドSUGO

# 冬の営業ご案内



秋も足早にすぎさり、季節はもう冬。スポーツランドSUGOを囲む山々も、はや、うっすら雪化粧を見せよいよ本格的なスキー・シーズンを迎えています。

さて、SUGOの冬といえば、スキーと鍋とお正月。グループの親睦に、お客さまとのお宴会に、また、ご家族そろってのおくつろぎに、ぜひ、これらのパックをご利用ください。

## 蔵王をすべる豪華パック

### ワンダフルSKIING'82

寒さ厳しい冬を持ってあまじい気分のお客さまや、販売店さまのレクリエーションにピッタリなのが、これ。時にはバイクをスキーに乗りかえ、白銀の世界に華麗なシュプールを描いてはいかがでしょう。SUGOのくぬぎ山荘をベースに楽しむSKIING。アフター・スキーも最高ノ

です。  
●2泊3日のスキーバック（2泊、3食、ナイトパーティ、レッスンがバック＝ウィークデーコース&週末コースが有り）のほか、初滑りスキーツアーやX'mas・スキーツアー、お正月スキーツアーがあります。



## 鍋料理でゆったり親睦

年の瀬から新春にかけて、あわただしく繰りひろげられる忘年会や新年会。それだけに、いざ宴会の席ではゆっくり腰を落ち着けて、お酒や料理を楽しみたいものですね。SUGOの宴会パックの目玉は、3種類の味覚がそろった鍋料理と純和風造りの深山亭。ゆったりスペースで

## 忘年会・新年会パック

くつろげることうけあいです。  
●鍋料理＝琵琶鍋（アンコウ鍋）、美狩鍋（スキヤキ）、景山鍋（中国風寄せ鍋）。お1人様（税・サービス料込み）3,600円、5,000円、5,600円の3コースが用意。宿泊もセットできますので、ご予約はお早目に！

## ひと味ちがったお正月体験

### SUGOお正月パック

せっかくのお正月休みなので、ときにはハネを伸してみちのく旅行を楽しませてはいかがでしょう。SUGOで迎えるお正月は、それこそ印象もひとしお。餅つき、凧上げをはじめとした各種イベントや特別企画で、ひと味ちがったお正月の思い出をおつくりください。  
●宿泊パック（1泊2食）＝お1人様（大

人）15,000円、（こども）11,000円。催し物ご案内＝12/31（木）：もちつき、ジャンボテレビで紅白を見よう、年越ソバ、鏡割り。1/1（金）：初詣、獅子舞い、お正月映画会、新春ファミリーパーティ。1/2（土）：お正月ルーム、福笑い、ジャンボカルタ、福袋。1/3（日）：わんぱくルーム、仙台初売りツアー……等。



※スケジュールは変更される場合もあります。

これらパックには、さらに詳しいカタログもご用意しました。右記宛お申込みください。

●詳細についてのお問合せ・ご予約は下記へどうぞ

## スポーツランドSUGO

〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎022483-3111

### SUGO仙台営業所

〒980 仙台市一番町1-4-1 福田ビル1F ☎0222-66-8401

### SUGO東京営業所

〒105 東京都港区東新橋1-1-2 秀和新橋ビル3F ☎03-574-8021

## ご入園料

	平日	日・祝日
小学生	150	200
幼稚園	えん	えん
中学生	300	500
高校生	えん	えん
大人	500	800
	えん	えん



# 冬も、ホット・ライディング。

いまやバイクにオフシーズンなどはありません。活動的なスポーツ・ライダーは、冬でもさっそうと走りを楽しんでいます。

そんなスポーツバイクのお客さまに最高のウィンタ

ーウェアが、このベストジャケットとオーバーパンツのコンビ、そして行動的なライダーズーツです。いずれも、防寒性、機能性、安全性にすぐれたヤマハのオリジナル商品。どうぞ積極的におすすめください。

## ●ベストジャケット&オーバーパンツ

肩口のファスナーを外せばジャケットからベストへ早替わり、オーバーパンツとのコンビで気温にあわせていく通りもの着こなしが楽しめます。

●カラー：ダークブルー&レッド ●素材〈ベストジャケット〉表ナイロン100%、中キルト・ポリエステル綿、裏ナイロン100% 〈オーバーパンツ〉内股部コットン100%、腰部ストレッチファブリック、他はベストと同一。

●標準小売価格〈ベストジャケット〉19500円 〈オーバーパンツ〉15500円

部品番号	商 品
90890-58001	ベストジャケット S
58002	" M
58003	" L
58004	" LL
58005	オーバーパンツ M
58006	" L
58007	" LL



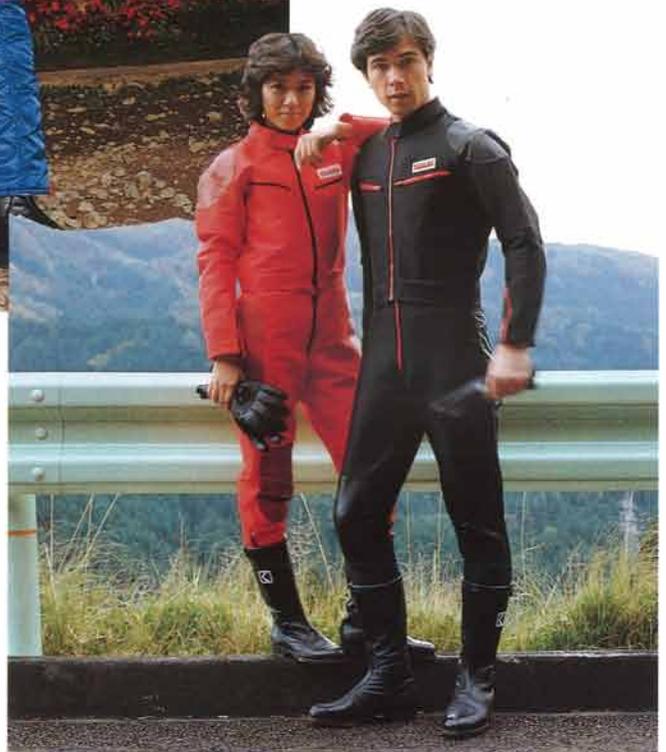
## ●ライダーズーツ

身体にぴったりとフィットするオーソドックスなライダーズーツ。ツーピース・タイプですから4シーズン通して着用できます。

●カラー：ブラック、レッド ●素材：ナイロン65%、ウール30%、オベロン5%、バット牛皮 ●標準小売価格27000円

部品番号	商 品
90890-58014	ライダーズーツ黒 M
58015	" L
58016	" LL
58017	" 赤 M
58018	" L
58019	" LL

※ここにご紹介したウェアをはじめウィンター用品類をすべてもり込んだ「81秋冬バイクカタログ」もご用意しました。どうぞご利用ください。



# 高出力と低燃費の両立。この難しい方程式を解いたのは、 たった日本のバイパスだった。



ハイパワーを追求するだけでなく、あわせてエコミーなエンジンはできないものか。私たちに与えられた命題は、つまり高出力と低燃費の両立ということだった。ひと言で言ってしまうまえば簡単だが、その解決策はそう容易なことには思えなかった。だが(いや、だからこそ)ヤマハの技術陣は燃えた。そして、この難題は、あっけなく解決することになる。そのカギは、何とたった日本のバイパスにあった。つまり、従来の吸気通路のほかに設けたバイパス(副吸気通路=写真の黄色い部分)が、混合気をジェット噴流化、スワール(渦巻き)現象を起こさせて燃焼効率をアップする。このY.I.C.S.(ヤマハ・インダクション・コントロール・システム)は、DOHC(気筒エンジン)との組み合わせによって、XJ750・400シリーズとして開花。その威力は、ご存知の通り。シンプルでありながら、大きな効果を生ずるこの技術こそ、ヤマハの柔軟な発想の証明。なにげない日本のバイパスにも、ヤマハの大きな創造力が隠されているわけだ。ベース。

## 広告活動ご紹介

これは12月発売の2輪専門誌に掲載するY.I.C.S.の広告です。前回のRZテクノロジーにひきつづき、ヤマハ独自の先進技術にスポットを当てたシリーズ広告の第2弾。時代を超えた革新のヤマハ技術への関心は、先の東京モーターショーでも最高の高まりをみせていました。この成果をどうぞ年末・年始の商戦にお役立てください。

**YAMAHA**  
ヤマハ発動機株式会社  
千438 静岡県磐田市新員2500  
TEL:05383(2)1111

YICS



●4サイクル・DOHC・4気筒・398cc ●Y.I.C.S.搭載 ●直噴  
出力45ps/10,000r.p.m.  
●最大トルク3.5kg・m/8,000r.p.m. ●標準  
現金価格 ¥452,000

YICS



●4サイクル・DOHC・4気筒・398cc ●Y.I.C.S.搭載 ●直噴  
出力45ps/10,000r.p.m.  
最大トルク3.4kg・m/8,000r.p.m. ●リターン式5段  
●標準現金価格 ¥465,000

**XJ400**  
*Special*

YICS

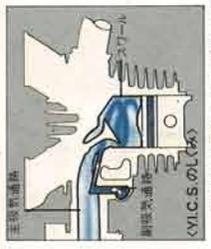


●4サイクル・DOHC・4気筒・398cc ●Y.I.C.S.搭載 ●直噴  
出力45ps/10,000r.p.m.  
最大トルク3.5kg・m/8,000r.p.m. ●リターン式5段  
●標準現金価格 ¥432,000

**XJ400**

# Y.I.C.S.

YAMAHA INDUCTION CONTROL SYSTEM



●カクゴ二番の方は機體名を明記のうえ、郵便切手150円を添えて重信様まで送り下さい。●ヘルメット、おはし、●定期保険を付けましょう。●バイクの改造はやめましょう。